

《28 年度特別号》



発行日	平成 29 年 3 月 22 日
小 平 第 三 小 学 校	校 長 山 川 順 子
学 校 経 営 協 議 会	学 校 経 営 協 議 会 子
会 長	井 口 典 子

CS (コミュニティ・スクール) とは三小児童の保護者及び地域住民が学校の運営に参画することを通して、地域に開かれ、かつ信頼される学校づくりを行うことです。

CSと放課後子ども教室がコラボした

「体育館の壁に絵を描こう」

壁画PROJECT(プロジェクト) 無事、完了!!!

■始まりは・・・

「体育館の壁面が少し寂しいね。」

「子どもたちが登校してきたときに、明るい気持ち・元気な気持ちになるような壁画を描いたらどうだろう。」

「素敵な話だけれど、デザインや費用のことも考えないと・・・。」

こんな会話が数年前から学校運営協議会で話題になっていました。



今年度になって前向きに取り組んでいく方向で話が進みます。

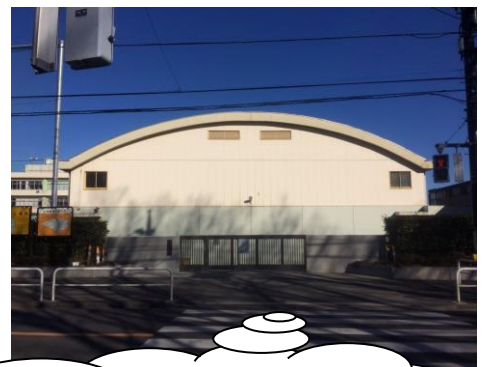
「どうにか工夫すればやれるのでは・・・」

「放課後子ども教室と協力すれば、大人だけではなく、子どもたちが
かかわる機会が作れそう・・・」

「三小の保護者・地域の方々力も借りながら・・・」

「三小の子どもたちのために実現させよう!!!」

こうして、壁画プロジェクトがスタートしました。



「おはよう!」三小の正門。
ちょっと寂しい??

■まずは資金! 『三小バザー』

費用を捻出するために「バザーを開こう!」ということで発足した三小バザー実行委員会。

たくさんの保護者・地域の方々が、趣旨に賛同してくださいました。品物を提供してくださったり、購入に協力してくださったり・・・壁画製作を進めるのに十分な資金を得ることができました。



当日は、バザーの他にも、趣味を生かしたフリーマーケットや、手作りケーキ・ポップコーンなどの喫茶コーナーも作られました。

PTA本部役員、サレジオ学園の先生、保護者ボランティアにもお手伝いいただきました。笑顔の絶えない、和やかな時間となりました。

《子どもの仕事》 3月6日(月) 7日(火) 8日(水) 9日(木) 10日(金)

「武蔵野に生息する植物・昆虫・動物」を描く



わたしはかわいいお花を描きたいな。うまく描けるかな。

クワガタ・トカゲ・モグラを描いた人もいるんだあ。すごく上手！！わたしはカエル。下絵をよく見て、慎重に……。



どんな模様のお魚にしようかな。ペンキが垂れないように気をつけなきゃ！



ずっと残る壁画だから、丁寧に仕上げよう。みんなに早く絵を見て欲しいな。

3人いる個性あふれる三小ちゃん。

どの子もかわいい♡

実は、右から……

「元気な子」

「やさしい子」

「考える子」

これは小平三小の

教育目標です。

右上には 三小の校庭にあった
ヒマラヤ杉も見えます。

あっという間に時間が過ぎていくなあ。
完成するのが楽しみだな。

■お手伝いの保護者の方々にも感謝！

子どもたちが壁画を描くときには、学年毎に5～6人のグループを作り、そのグループに1人、ボランティアの保護者が付きました。

子どもたちがあらかじめ準備してきた下絵を確認し、使うペンキの色を決定。描くときに相談に乗ったり、ペンキの受け渡しをしたりしながら、楽しい時間を一緒に過ごしました。

子どもたちのわくわく・どきどきしている顔、真剣な顔も素敵でしたし、「お願いします」「ありがとうございます」などのきちんとした言葉遣いにも感心しました。



水色が終わったら、次は白色のペンキかな？
すごく真剣！
すごく上手！



緊張するなあ。慎重にきれいに描こう。私は、楽しく泳ぐカメを描きたいな。



台に乗るときはヘルメットをかぶって安全に。

☆製作指導を担当して下さった

河村さん・山本さんからのメッセージ

壁画の活動中、道行く人から「これ、いくらでやってるの？」と何度も聞かれました。『プロの仕事?!』と思われたこの壁画ですが、スタッフ全員、ほぼ素人でのスタートでした。

試行錯誤を繰り返し、小俣さんという強力な助っ人を得て、最後に、無事完成したことは本当に奇跡のようです。全学年の子どもたちが安全かつ、楽しんで描くためには・・・と、何度も話し合いと反省を繰り返したことも、今では良い思い出です。

「楽しかった!」「またやりたい!」と言ってくれる子どもたちの笑顔は、プライスレスなご褒美です。

【編集後記】

先生・保護者・地域が協力しながら、小平三小をより良い学びの場にしていく。その橋渡しとなる「学校運営協議会」を設置

している学校をコミュニティ・スクール（CS）といいます。今回の「壁画プロジェクト」は、CSでアイデアが生まれ、バザーが行われ、放課後子ども教室とコラボしながら進んでいきました。様々な方の「知識」と「技」をお貸しいただきました。また、たくさんの会話・笑顔・コミュニケーションを通して、新しいつながりや信頼関係が生まれたように思います。これからもみなさんの総力で小平三小の教育活動を支えていきましょう。

みなさまのご理解・ご協力に感謝いたします。本当にありがとうございました！